平成26年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書

町の木　けやき

　町内に銘木も多く、特に小木ノ城のけやきは、古くから郷土の象徴として親しまれています。
　いかなる環境にも耐え抜く旺盛な生育力があり、町のシンボルにふさわしいとして、町の木に定められました。

平成27年3月

出雲崎町教育委員会

目　次

頁

平成 26 年度点検評価報告書の概括について　……………………　1

Ⅰ　教育委員会の会議及び委員の活動状況　……………………　4

Ⅱ　学校教育　………………………………………　6

１．出雲崎小学校グランドデザイン　……………………………　6

２．出雲崎中学校グランドデザイン　……………………………　11

３．小中学校の連携から地域連携へ向けた取組　………………　14
～メディアコントロールができる児童生徒育成へ向けた取組～

４．全国学力・学習状況調査結果（児童生徒に関する調査）………　19

Ⅲ　社会教育事業の実施状況　……………………………　27

１．社会教育・公民館事業　……………………………　27

２．図書館事業　……………………………………　33

３．社会体育事業　……………………………………　36

Ⅳ　学校・社会教育施設の整備充実　……………………………　40

Ⅴ　学識経験者からの総合評価　……………………………　41

Ⅵ　その他　…………………………………………………………　42

平成 26 年度点検・評価報告書の概括について

1　議会に報告する事由

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条」の規定により、平成 20 年度から教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年、教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表しなければならないこととなった。

出雲崎町教育委員会では、法の趣旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、以下のとおり点検・評価を行った。

2　学識経験者の知見の活用

平成 26 年度点検・評価に当たっては、前年度同様、元長岡市立北中学校長の山崎十五郎氏（柏崎市・旧西山町在住）から総合評価をいただくとともに、次年度に向け助言・指導を得た。

3　報告書作成に当たっての留意点

（１）各項目について、具体的な取組み状況を列記しながら、その成果などを整理した。

（２）教育委員会の業務が広範にわたる中で、中央教育審議会では平成 25 年 12 月に、教育委員会制度の改革について答申がなされた。

それに対応して、平成 26 年 6 月 20 日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が公布され、平成 27 年４月１日から施行されることとなった。今回の改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会の連携の強化、地方に対する国の関与の見直し等制度の抜本的改革となっている。

（３）このような認識の下、地方教育行政に対するニーズは、今後もますます多様化することが予想される。教育委員会として、これらの期待に応え、責任を持って取り組む姿勢が大切である。

4　報告書の内容から見られる主だった評価

（１）「教育委員の活動状況」については、保護者や地域住民に対して、機会あるごとに情報の発信を行い、教育委員会活動の周知に努めている。

昨年度からになるが、教育委員としての見識を深め、教育行政に反映させるべく、定例の教育委員会会議の終了後に、教育に関する直近の話題や諸問題について、講義と意見交換を合わせた勉強会として**「教育委員研修」**を実施している。

（２）「学校教育」については、出雲崎町の子ども達が家庭学習を行う時間的不足が県平均・全国平均と比較して、顕著に少ないことが明らかとなっている。家庭では宿題はしているが、学校の授業の予習・復習までは到っていないことがうかがえる。

小中学校の９年間を見通して連携を図り、家庭学習の指導面でも発達段階に応じた指導を進めている。どの段階でどのような指導を行うことが必要なのか、学校と家庭、教育委員会が連携を取りながら、家庭学習の充実・定着を図っている。

また、小学校４年生から６年生の理科には平成 25 年度に引き続き、**「理科支援員を配置」**し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実の対応及び、理科の学力向上に結び付くよう努力をしている。

更に、今年度からは中学校に**「情報教育支援員」**を配置し、授業におけるデータ作成や整理、電子黒板を使った授業の教員補助を行うなど、多角的に教員のサポート体制の充実を図っている。

（３）「社会教育」については、第５次出雲崎町総合計画における基本方針の「夢・感性あふれる教育と歴史文化香るまちづくり」の実現に向けて、出雲崎町民であることに誇りを持てる環境づくりが必要であり、一人ひとりが主体的かつ積極的に社会教育事業に参加推進できるように環境整備を行ってきた。

特に「出雲崎総合大学」事業は、16 年間継続している事業であるとともに、多彩な事業メニューを組み、年々参加者が増加しており、中核となる事業がなされてきている。

小学校児童の放課後や長期休業での居場所づくりとして、放課後子ども教室への移行を見据えた中で、「出雲崎ッズ」事業の拡充・充実を図っている。

学校、家庭、地域の連携促進事業により、子ども達が校外活動などで町内の自然や環境、農業体験などに取り組んだ。大勢のボランティアにより小中学校のグラウンド除草や小学校の裏山「ほなみが丘」整備に活躍頂いた。

良寛学習（出中）

５　今後の点検・評価にかかる重点事項について

点検・評価の実施について、次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、検討して参りたい。

（１）　児童・生徒が一人の大人として成長していくためには、学校における教育だけでなく、地域や地域の人たちとの関わりが、一層重要な要素となってくるものと考える。

町の子どもの減少はさらに続いている。しかしその半面、少人数だからこそできる教育もある。１小学校・１中学校となっているため、一貫した教育を行いやすい条件はそろっている。

「出雲崎町教育計画」では、このような学校環境を考えたとき、小学校入学から中学校卒業までの９年間を一貫した指導を行うことにより効果的な指導ができる。義務教育のまとめとなる中学校卒業時の“具体的な子ども像”を描き、そのことを実現するために各発達段階をふまえて、生活面（規範意識、社会性、ものの見方や考え方　等）と学習面（知識理解、活用力　等）を中心に、指導の方策・内容に共通性を持たせることが必要となる。実際の指導では、目標を連鎖させて「学校評価」「教員評価」を活用し、小中学校教職員が同一歩調で児童生徒の指導に当たることが重要になる。

また、総合学習等においては、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っている。

そして、その学習成果を称え中学校卒業時に**「良寛学習修了証書　慈愛」**を交付するなどで、**「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」**を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。

（２）　町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の３つを施策の柱として進めていく。

出雲崎の子ども達が将来の夢や希望を実現できるような、教育とはどうあるべきかを教育現場の先生方と真剣に真摯に議論し、その答えを見出す努力を喫緊の課題として取組みたい。

成 人 式

Ⅰ　教育委員会の会議及び委員の活動状況

（１）定例会および臨時会の開催（定例会６回、臨時会１回）

会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4／24	社会教育各種の委員・学校評議員・教育行政点検評価員の任命委嘱
6 月定例会	6／12	青少年問題協議会条例の改正、補正予算、委員長・職務代理の選挙、教科書採択の方法
7 月臨時会	7／23	教科用図書の採択、補正予算
9 月定例会	9／ 5	補正予算
12 月定例会	12／3	補正予算
2 月定例会	2／23	特別支援教育の就学援助に関する条例（施行規則）の改正、補正予算、当初予算、教育委員会表彰
3 月定例会	3／23	教育委員会制度改正に伴う規則等の改正、教職員及び教育委員会の人事異動、教育長職務代理者の指名

（２）教育委員研修

・関東甲信越静市町村教育委員連合会総会・研修会
〈長野市〉（5 月 16 日／金）

・県市町村教育委員会連合会総会・研修会
〈小千谷市〉（7 月 17 日／木）

・「湯沢学園」訪問視察　　〈湯沢町〉（12 月 2 日）
「保幼・小・中一貫教育」（１２か年教育）

・町内研修　5 回　「4／24・6／12・9／5・12／3・3／23」

（３）その他の参加活動状況

・転入教職員面識会（4 月 1 日／火）

・小・中学校入学式（4 月 7 日／月）

・町教育研究会研修会、総会（5 月 12 日／月）

・文化芸術鑑賞会（6 月 18 日／火）『山形交響楽団』

・出雲崎小学校運動会（5 月 24 日／土）

・町成人式（8 月 16 日／土）

・出雲崎中学校体育祭（9 月 6 日／土）

・出雲崎小学校文化祭（10 月 25 日／土）
・出雲崎中学校学習発表会（10 月 26 日／日）
・生涯学習フェスティバル（11 月 2 日／日・3 日／月）
・未来の夢こども体験講演会（10 月 29 日／水） 講師 作家 『乙武洋匡』氏 『チャレンジ精神を忘れずに』
・学校施設営繕視察検討会（11 月 18 日／火）
・出雲崎小学校ハッピーハート集会（11 月 19 日／水）
・出雲崎中学校いじめ見逃しゼロスクール集会（12 月 9 日／火）
・メディアコントロール講演会（12 月 12 日／火） 講師 長岡赤十字病院小児科部長『田中篤』氏 『メディアが子どもの心身に与える影響』
・知事とのタウンミーティング（2 月 19 日／木） 「子育て支援とまちづくり～子育て世代の移住・定住を目指して～」
・町教育委員会表彰伝達式（H26 年 2 月 23 日／月）
・中学校卒業式（H26 年 3 月 7 日／金）
・小学校卒業式（H26 年 3 月 25 日／火）

➢概 要

平成 26 年度の教育委員会会議は、定例会や臨時会を開催しながら、教育行政・教育予算などの議案について審議を行った。また教育委員の方々は、地教行法の趣旨である「自覚と責任」を意識しながら、年間を通して学校行事や社会教育行事等に積極的に参加していただくなど、幅広い教育分野の中で活動いただいた。

➢成果と課題

学校教育や社会教育分野など多くの教育関係活動に、教育委員から出席・参加をいただいたことにより、自らが教育委員としての資質の向上や、児童生徒の活動状況を把握できたものと考える。

また、委員研修として昨年度から定例的に教育委員研修を実施し、教育行政の在り方、今後の方向性など忌憚のない意見交換を行った。さらに、県教育委員連合会の研修のほかに、12 月に湯沢町を訪問して、保幼小中一貫教育、地域連携の先進地視察を行った。

なお、今後の大きな課題として、全国的な問題となっている〝いじめ問題〟そして、新たに〝体罰に関する問題〟など教育委員会として、学校現場と PTA・保護者などと、どのように連携しながら、〝この大きな問題に立ち向かい〟その発生を未然に防ぐ手段をどう講じていくのか、対策の検討・充実が求められている。その中で、平成 27 年 2 月には「出雲崎町いじめ防止基本方針」を制定するなど、問題行動の予防対策の充実に努めてきた。

知育

Ⅱ 学 校 教 育

１．出雲崎小学校グランドデザイン

今年度の重点目標　　　　　　　　　　評価

〇耳を傾けて熱心に聴く子　　〇達成した

〇向かい合って話し合う子　　▲努力が必要

努力事項と評価

＊口を閉じ，相手をしっかり見て聴くことができる。	〇
＊授業や主張朝会で，感想や意見を言うことができる。	▲
＊１０分×学年を目標に家庭学習に取り組んでいる。	〇

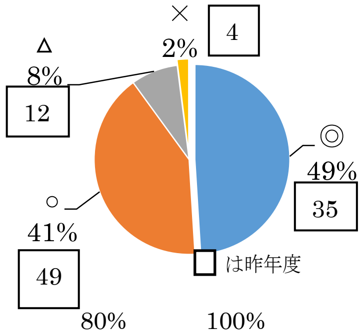
授業や主張朝会での話し合い

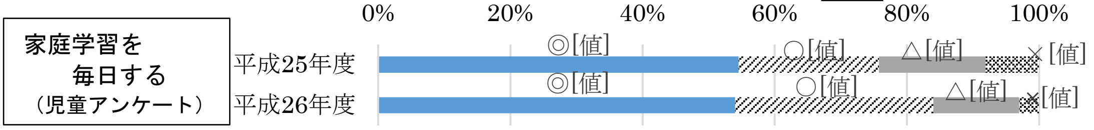
・「話の聴き方」が昨年度に比べて向上が見られます。話の聴き方がよくなったと自覚している児童も多くなりました。

・「話合い」では、自主的に発表したり、友達の考えに対して自分の感想や意見を述べたりすることを、もう少し伸ばしていきたいと思います。

・家庭学習の習慣がしだいに定着してきましたが、上の学年になるほど、目標時間の達成が難しいようです。

話をしっかりと聴く（児童アンケート）





・毎年実施してする学力検査の結果は、国語・算数・社会が全国平均並かやや上、理科が平均を下回っています。課題となるところを明らかにしながら、授業改善に努め、学力の向上を目指します。

次年度に向けて

★「分かる」「できる」と意欲につながる「分かりやすい授業」づくりを通して、主体的に学習に取り組む子供に育て、学力向上を図ります。

★家庭学習の習慣化に向けて、中学校と連携した取組を進め、基礎・基本の学力の定着に努めます。

徳育

今年度の重点目標

〇温かいメッセージいっぱいの子
〇ルールを守り協力し合う子

評価

〇達成した
▲努力が必要

努力事項と評価

努力事項	評価
＊自分から進んであいさつをしている。	〇
＊友達のよいところを見つけ、互いにほめたり励ましたりしている。	〇
＊学校のきまり（廊下歩行・始業時間・遊びのルール等）を守っている。	▲

中学生を迎えてのハッピーハート集会

（ハッピーハート集会）参観者の声

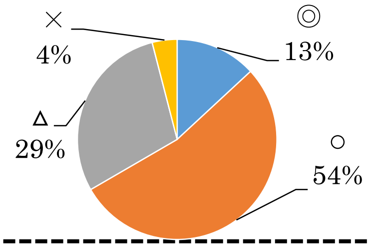
身近な会話から,仲間でも傷付ける言葉や言い方があることを劇を見て,考えることができてよかった。多くの人の発言（中学生も含めて）を聞けたのもよかった。気付く→分かる→できる（勇気）を実行してもらいたい。

保護者も参加したあいさつリレー

・全校体制はもとより、中学校とも連携して「あいさつ運動」に取り組みました。
地域の方から「大変あいさつがよい。」という声をいただきますが、バスの乗り降り時やスクールガードボランティアへのあいさつが、あまりよくないこともありました。

・保護者アンケートでは「相手に応じた適切な言葉遣い」の項目の評価が低かったです。学校以外でも相手を傷付ける言葉を使わず、場に合った言葉遣いができるように指導を継続していきます。

言葉遣い（保護者）



次年度に向けて

★温かい人間関係をつくるために、互いを認め合ったり、よさを伝え合ったりする活動やコミュニケーションスキル（あいさつ・言葉遣い、協同活動、トラブル解消法等）の指導を継続します。
★子供が自分たちの問題を主体的に解決しようとする学級活動や委員会活動を進めていきます。

体育

今年度の重点目標

〇毎日健康な生活をする子

〇進んで運動する子

評価

〇達成した

◎十分達成した

努力事項と評価

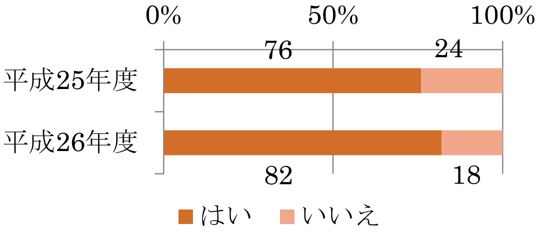
＊睡眠やバランスの摂れた食事に気を付けて生活できる。	〇
＊家でテレビやゲームのルールをつくり，守ることができる。	▲
＊体を動かして遊んだり，運動したりしている。	◎

メディアコントロール授業

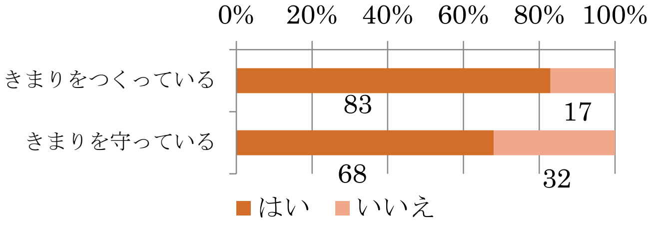
出小ギネス大会

・1月から、出雲崎町全体でメディアコントロールに取り組んでいます。「0の付く日はノーメディア・デー」「テレビ・ゲームは２時間以内」「できることから始めよう」などを合言葉にがんばっています。

テレビやゲームの時間を守っている（児童）



テレビやゲームについて（保護者）Ｈ２６



・90%の児童が「体を動かして遊んだり運動したりしている。」と回答し、休み時間にはグラウンドで元気に遊ぶ子供の姿を多数見かけます。

・運動能力では、投力に優れていますが，持久力と調整力に課題があります。

<u>次年度に向けて</u>

★メディアコントロールを中心にして、ハッピーライフウィークで自分の生活を振り返り、睡眠・食事・運動とバランスのとれた生活改善に努めます。

★体力向上に向けて短縄跳びを中心とした運動に取り組み、自己記録更新を目指しながら、継続的な運動に取り組みます。

児童アンケート結果		7月 肯定%	12月 肯定%	比較 評価
1	先生の話や友達の発表を、口を閉じて相手を見て、しっかり聴くことができた。	９０	９０	○
2	主張朝会や友達との話し合いで、感想や意見を言うことができた。	６３	７０	↑△
3	毎日、「10分×学年」の家庭学習を忘れずにできた。	８２	８４	
4	自分から進んであいさつをしている。	８４	８２	
5	友達のよいところを見つけて、ほめたり励ましたりしている。	８３	８７	↑
6	学校のきまり（廊下歩行・始業の始まり）を守り、落ち着いて生活をしている。	８７	８４	↓
7	テレビやゲームの時間を家の人と話し合って決め、守ることができた。	８７	８２	↓
8	体を動かして遊んだり運動したりしている。	８７	９０	↑○
9	運動会・水泳・マラソン大会・体育の授業で、自分のめあてを立て、それに向かって練習したり努力したりしている。	８８	８８	
10	今年「活躍する私」だった。	８０	８６	↑

活躍する私

　わたしの友達は、いっぱい活やくしています。友達を笑わせたり、勉強でよい成績をとったりしています。そのほかにも、運動やあいさつで活やくしている人もいます。わたしは、地域の人や家族が喜ぶ活やくをしたいと思います。
　一つ目は、地いきの人や家族の人へのあいさつです。あいさつをすると元気になるし、相手も笑顔になって学校も明るくなります。
　二つ目は、ドリル学習です。学校では分からないことも、家に帰ってその日のうちにドリル学習をすると分かることがありました。だからドリルを毎日こつこつがんばっていきます。（4年）

　わたしはうちで、ふろそうじができるようになりました。せっけんですべりそうだったけどできました。
　おとうさんが、たすかったっていってくれました。うれしかったです。（1年）

　今年できるようになったことがいっぱいあります。とくに意見がいっぱい言えるようになりました。
　文化祭のげきでは、お百しょうさん役をやって、自分でなっとくしたえんぎができました。
　友だちとは，おにごっこなど、おおぜいで遊ぶことがおおくなりました。（3年）

保護者アンケート結果		7月 肯定%	12月 肯定%	比較
1	家の人や友達の話をしっかり聴くことができた。	６７	７９	↑
2	家の人や友達に自分の思っていることや考えていることを伝えることができた。	７５	８８	↑
3	「10分×学年」の家庭学習を必ずしている。	７６	７８	
4	朝や就寝前に進んであいさつをする。	８３	８４	
5	友達と活動して楽しかったことや、友達のよいところやがんばっていることを家で話すことがある。	６３	７７	↑
6	時間を守ったり、歩行や自転車乗り等のルールを守ったりしてきまりよく安全に生活している。	７８	８２	↑
7	家庭で決めたテレビやゲームのきまりを守って遊んでいる。	６８	６８	▲
8	体を動かして遊んだり、運動したりしている。	８２	７６	↓
9	喜んで学校に通っている。	９４	９５	○
10	子供のよいところやがんばっていることを認め、励ましている。	８８	９１	↑○
11	子供と学校や友達のことについて話をする。	９３	８９	↓
12	子供は乱暴な言葉を遣わず、相手に応じた適切な言葉遣いで話している。	６４	６６	▲
13	子供と話し合って、テレビやゲームの視聴時間、パソコンやネットの使い方についてきまりをつくっている。	７９	８３	↑
14	学校・学年だより、ホームページやブログなどで学校や学年の方針や情報が伝わっている。	８９	９０	○
15	困ったことや悩み事があった時、学校は真剣に相談にのってくれた。	８７	９１	↑○

保護者自由記述

・先生によく見てもらっていると感じる。電話でも快く話を聞いていただいたり相談にのってもらったりしている。今後も連携のとりやすい学校であってほしい。
・我が子にも当てはまるが、言葉遣いが非常に気になる。目上の人と話すときの話し方、友達同士であっても相手を傷つけるような言葉はつかわないなど、相手の言葉そして自分の言葉をもっと大切に考えてほしい。
・宿題や家庭学習のやり方がよく伝わってこない。もう少し伝え方を工夫してほしい。
・学年の様子は分かるが、学校全体の様子がもう少し分かる便りを発行してもよい。
・学校の様子をブログで楽しく見ている。他の学校のブログを見て、出雲崎でやっていない体験をしているのを知り、是非出雲崎でも体験する機会を作ってほしいと思う。他校との交流がもっと早い時期からあることを望む。社会は広いということを経験できれば、違った視野も生まれるのではないか。子供も親も。

２．出雲崎中学校グランドデザイン

知の分野 【学力の向上目標達成計画】

	番号	評価項目	チェック	検証				備考	改　善
			25年結果	何を使って	どのように	評価規準	結果		27年度アクションプラン
成果目標	1	基礎テストの合格率を80％以上にする。	B 80％以上 15/30 60％以上 24/30 30回の平均合格率 72.4％	実際のテストの結果	特別支援学級の生徒を除く合格率の算出 試験後に集計	A：10回×3学年＝30の全ての合格率が80％を上回る。 B：60％を上回る。 C：Bに到達しない。	C	数2・英3・社2・理2で実施 C 1年：数1回 2年：英1回社2回　全校 3年：数1回社2回　7/30 60％以上の回数 1年：4回、2年：6回、3年：6回 全校　16/30 30回の平均合格率　66	・各教科で事前の指導を徹底する。プレテストを全教科で実施し、学年部と連携しながら指導する。 ・合格率が80％を越えるまで再テストを行い、最低限必要な学力を保証する。
成果目標	2	（改） 家庭学習を毎日60分以上確実に行う生徒が70％以上にする。	毎日行う生徒が A96.8％	学校生活アンケート	1学期末 2学期末 に実施	A：毎日家庭学習をする生徒が90％以上。 B：70％以上。 C：Bに到達しない。	C	平日全校68.5％→ 65％ 1年①60.0％：54分 ②54.8％：47分 2年①58.8％：54分 ②55.9％44分 3年①89.3％：69分 ②85.7％：69分	復習を中心とした家庭学習の指導を継続する。
成果目標	3	新 日々の授業改善により生徒の活用力を高め、学習内容を補充・深化することにより授業が分かる生徒が70％以上にする。	話し合い、活用 92.6％	授業アンケート	1学期末 2学期末 に実施	A：話し合う手順が分かり、活発な話し合いができたと思う生徒が70％を上回る。 B：60％を上回る。 C：Bに到達しない。	A	全校①未実施→97％ 1年①　→②93％ 2年①　→②99％ 3年①　→②99％	・机間指導をしてノートの取り方を指導する。 ・（新）授業3原則の徹底
運営活動目標	1	毎時間、授業で前時の学習内容を確認する。	A 98.6％ 3.4	職員評価	1学期末 2学期末 に実施	A：実施率90％以上。 B：70％以上。 C：Bに到達しない。	A	生徒評価（授業アンケート） 5教科　98．7％ 職員評価　5教科100％ 四点法評価　3.6 （小テスト4、確認3）	・職員研修で授業の共通実践事項を具体的に確認する。 ・「学びあい10」のうち、自校に取り入れられるものを取り入れる。
運営活動目標	1	新 Webテストを活用し、定着度の確認と弱点の補強を行う。 県内平均を3教科全てにおいて上回る。	新	Webテスト	毎月実施	A：10回×3学年＝30回から3年2月の1回、英語1年の567月の3回を引いた26回の県内平均越えが80％　を上回る。 B：60％を上回る。 C：Bに到達しない。	A	5月6月7月計 16/24×100＝66.6％ 9・10・11・12・1・2月計 43/45×100＝95.6％ 計　85.5％	・Webテストで評価の低い問題を定期テストに出題する。（弱点の強化） ・小テストの活用　基礎と応用を組み入れる。
運営活動目標	2	週末課題提出の徹底と家庭学習に適した学習内容や学習方法を提示する。	B 96.8％	週末課題提出率	毎週の始めに実施	A：提出率97％以上。 B：97−90％ C：提出率90％未満。	B	累計94．8％ （2月13日現在）	・未提出者ゼロ、提出率向上を目指し、学年だより等で啓発し、保護者と連携しながら継続して呼びかける。
運営活動目標	3	新 言語活動を計画的に取り入れ、他と比較する見方を身に付ける。	新	職員評価	1学期末 2学期末 に実施	A：学期に1回研究授業を行った。 B：年間1回研究授業を行った。 C：研究授業を行わなかった	B	学期に1回　　0名 年間1回　　8名 実施しなかった　0名	・来年度の研究主題を職員全員に周知する。 ・一人一実践に連続性をもたせ、次時の実践に生かす。

知の分野 【総合的な学習の時間目標達成計画】

	番号	評価項目	チェック	検証				備考	改　善
			25年結果	何を使って	どのように	評価規準	結果		27年度アクションプラン
成果目標	1	新 総合的な学習の時間の活動と通して、自分と違う意見を受け入れながら、自分の考えを適切に伝えることができる生徒が70％以上にする。	新	総合的な学習アンケート	単元の終わり	A：自分の考えを適切に伝えられた生徒が70％以上。 B：自分の考えを適切に伝えられた生徒が60％以上 C：Bに到達しない。	A	全校①83.7％②88％ 1年 ①86.7％②73％ 2年 ①94.1％②96％ 3年 ①67.9％②95％	・学習成果発表の場面を、各単元の終わりに明確に位置付ける。 ・①伝える立場での自己・相互評価、②発表を聞き理解する立場での自己・相互評価を行い、「調べた内容を効果的に伝える手段や方法」の改善に生かす。
成果目標	2	新 身に付けさせたい能力（基礎的・汎用的能力）を明確にした活動において、「〇〇ができる」と目標を達成した生徒が80％以上にする。 1年「ルールを守って活動ができる」 2年「マナーを守り、礼儀正しく活動できる」 3年「町の良さをアピールできる」	昨年は進路でB	総合的な学習アンケート	1学期末 2学期末 に実施	A：「〇〇ができた」と肯定的に答える生徒が80％以上 B：「〇〇ができた」と肯定的に答える生徒が70％以上 C：Bに到達しない。	A	全校①92.4％②97％ 1年①100％② 96％ 2年②100％②100％ 3年③　75％② 97％	・それぞれの単元で、課題設定を行う場面を明確に位置付ける。 ・設定された課題に即して、生徒が「〇〇ができるようになる。」と意識し学習に取り組めるように各単元で、段階的な学習目標を設定する。
成果目標	3	新 古くからある歴史、文化を理解し、出雲崎町に誇りをもてる生徒が80％以上にする。	新	総合的な学習アンケート	良寛学習のまとめ	A：全ての学年が80％以上。 B：2つの学年のみ80％以上。 C：Bに到達しない。	A	全校①91.3％②97％ 1年①83.3％②　95％ 2年①97.1％②100％ 3年①92.9％②　95％	・良寛学習を充実させ、「町の宝物」を活用する。 ・1年：町調べで出雲崎を更に知り、職場体験で町で働く人々の苦労を知り、感謝する心を育てる。 ・2年：新潟巡検の活動を通し、出雲崎町の良さを見つけ、町のこれからについて提言を行う。 ・3年：良寛ガイドや福祉体験学習を通じて、出雲崎町の課題解決の方途を探る。
運営活動目標	1	活動記録用紙等を活用し、追求を深めるためのアドバイスを全生徒に行う。	交流前に立てた目標 A	職員評価	単元の終わり	A：活動記録用紙で生徒の活動を見取り、全生徒に複数回の助言をすることができた。 B：活動記録用紙で生徒の活動を見取り、全生徒に助言することができた。 C：Bに到達しない。	C	四点法評価 ①2.4②3.1 内訳 ①A：0　B：3　C：5 ②A：2　B：5　C：1	・過年度の実践を参照し、 ①課題設定 ②課題を追求 ③アドバイス の3つの場面を明確にし、活動の支援を行う。
運営活動目標	2	キャリア教育を推進するための全体計画や各学年で取り組む内容や時期、教科等を示した年間指導計画を整備する。	新	職員評価	1学期末 2学期末 に実施	A：全体計画・年間指導計画が夏季休業中に完成 B：全体計画・年間指導計画が冬季休業中に完成 C：Bに到達しなかった。	B	四点法評価 ①2.9②2.5 内訳 ①A：2　B：2　C：3 ②A：1　B：1　C：4	・各学年総合の配当時間（1年50時間、2・3年70時間）になるように、計画的な運営を行う。 ・キャリア教育の全体計画と、総合の各単元のねらいや学習内容との関連に留意する。
運営活動目標	3	新 学校支援ボランティアから出雲崎の歴史、文化について説明していただく場を、単元に1回以上設ける。	新	職員評価	単元の終わり	A：1回以上設定した。 B：1回は設定した。 C：全く設定しなかった。	B	四点法評価 ①3.0②3.0 内訳 ①A：2　B：3　C：2 ②A：2　B：4　C：2	・良寛学習等での町の講師活用と単元の指導計画に明示する。

徳の分野 【人間関係づくり目標達成計画】

	番号	評価項目	チェック	検証				備考	改善
			25年結果	何を使って	どのように	評価規準	結果		27年度アクションプラン
成果目標	1	学級はよい友達関係で安心して過ごせると実感している生徒の割合が95%以上にする。	A 100	学校生活アンケート	1学期末 2学期末 に実施	A：肯定的な評価をする生徒の割合が95%以上である。 B：肯定的な評価をする生徒の割合が90%以上である。 C：Bに至らない。	A	全校①97.8% ②95.7% 1年①93.3%②90.0% 2年①100%②100% 3年①96.4%②96.4%	＜ソーシャルスキルトレーニングの実施＞ ソーシャルスキルの具体案を示す ①後輩への接し方（新1年生体験入学時活用） ②リーダーとして指示の出し方（部活・委員会） ③新しい環境での人との接し方（卒業後） ＜年間指導計画の見直し（新しい道徳の活用を含める）＞ 新しく購入する副読本の該当題材と新しい道徳の活用ページを示した、年間指導計画を作成する。
成果目標	2	相手の立場を考えて行動している生徒の割合が90%以上にする。。	A 91.5%	学校生活アンケート	1学期末 2学期末 に実施	A：相手の立場を考え、行動できたと回答する生徒が90%以上である。 B：相手の立場を考え、行動できたと回答する生徒が80%以上である。 C：Bに至らない。	A	全校①92.4% ②97.8% 1年①86.7%②96.7% 2年①94.1%②100% 3年①96.4%②96.4%	
運営活動目標	1	全ての担任が年5回の生徒の意識調査をもとに継続的に教育相談を行う。 （全ての生徒に対して5回以上の教育相談を行う）	B 3.3	職員評価	1学期末 2学期末 に実施	A：「がばいシート」を活用し、継続的に教育相談を行った。 B：悩み調査をもとに教育相談を全員に行った。 C：Bに至らない。	B	四点法評価 ①2.4 ②3.4 内訳 ①A：0 B：6 C：8 ②A：4 B：5 C：0	・学年別に教育相談優先日を設け、他の活動に支障が起きないようにする ・学年優先日を設定し、部活監督を割り振る。職員室前方の予定黒板に明示する。
運営活動目標	2	新 各学年で、必ず学期1回、人権教育、同和教育を意識した道徳教育を推進する。	C 2.9	職員評価	1学期末 2学期末 に実施	A：人権・同和に関する授業を新た指導案から考え、施した。 B：既に出来ている指導案で授業を行った。 C：授業を行わなかった。	B	四点法評価 ①2.9②3.3 内訳 ①A：1 B：4 C：2 ②A：3 B：3 C：1	・いじめ見逃しゼロスクール集会前の人権に関する授業や2月の「生きるⅣ」を活用した授業を人権・同和教育の校内研修に位置づける。また、その資料はファイリングし、継続して活用する。

徳の分野 【地域貢献・奉仕活動目標達成計画】

	番号	評価項目	チェック	検証				備考	改善
			25年結果	何を使って	どのように	評価規準	結果		27年度アクションプラン
成果目標	1	自分の役割を進んで果たし、集団への貢献を自覚できる生徒の割合が80%以上にする。	59.6%	学校生活アンケート	1学期末 2学期末 に実施	A：80%以上の生徒が肯定的評価をする。 B：70%以上の生徒が肯定的評価をする。 C：Bに至らない。	C	全校①67.4%②60.2% 1年①43.3%②43.3% 2年①85.3%②76.5% 3年①71.4%②57.1%	・行事（3学期三送会）の事前指導と事後の振り返りを行い、それぞれの活動を賞賛する機会を作る。 ・1年生を強化する。（学期はじめに改善のための目標をもたせ、具体的なプロセスを考えさせる）
成果目標	2	奉仕活動に対する意欲が芽生え、対外的な奉仕活動に積極的に参加する生徒の割合が70%以上にする。	96.9%	学校生活アンケート	1学期末 2学期末 に実施	A：奉仕作業に自主的に参加した生徒が70%以上である。 B：奉仕作業に参加した生徒が80%以上である。 C：Bに至らない。	B	全校①90.2%②96.8% （自主的63.4%→86%） 1年①76.7%②93.3% 2年①94.1%②97.1% 3年①100%②100%	・27年度は資源物回収が11月に行われ、町体清掃と同じ月となってしまった。ボランティア活動の設定が月に複数回ないように、生徒会、学校が計画的に配置する。
運営活動目標	1	全ての職員が生徒会活動の動きを把握し、それに基づいて各委員会の活動を指導し日常活動が円滑に進めるようにする。 （評議委員会を学期に1回以上参観する教職員が100%）	B 3.2	職員評価	1学期末 2学期末 に実施	A：全ての職員が、評議委員会に学期に1回は参加し、生徒の活動を見取り、担当委員会の活動に生かしている。 B：80%以上の職員が評議委員会に学期に1回は参加している。 C：Bに至らない。	B	四点法評価 ①3.1②3.5 内訳 ①A：2 B：8 C：1 ②A：6 B：6 C：0	・2学期のアクションプランで成果の上がった「評議委員会当日の職員朝会で、担当者が出席を呼びかける」を継続して行う。
運営活動目標	2	各行事活動を行う際、担当職員は地域と連携をとり、計画を練る。 （地域行事を1回以上企画運営する）	B 3.3	職員評価	1学期末 2学期末 に実施	A：地域行事を1回以上企画・運営する。 B：地域行事を1回企画・運営することができた。 C：Bに至らない。	C	四点法評価 ①2.7②3.7 内訳 ①A：0 B：5 C：2 ②A：4 B：2 C：0	・キャリア教育や良寛学習の内容に地域との関わりを積極的に取り入れる。 ・町のために活躍できる中学生となるよう教育活動を仕組む。
運営活動目標	2	地域貢献の意義や安全指導について適切に行う。 （地域貢献の題材で1回以上授業を行う）	A 2.6	職員評価	1学期末 2学期末 に実施	A：地域貢献の題材で、1回以上授業を行う。 B：地域貢献の題材で1回は授業を行った。 C：Bに至らない。	B	四点法評価 ①2.6②2.8 内訳 ①A：1 B：3 C：4 ②A：1 B：3 C：2	・各担任が、ボランティア活動の実施前にボランティアについての授業を行う。

体の分野 【体力向上目標達成計画】

	番号	評価項目	チェック	検証				備考	改善
			25年結果	何を使って	どのように	評価規準	結果		27年度アクションプラン
成果目標	1	新体力テストで、個々の合計得点が全国平均を上回る生徒の割合が70%以上にする。 (48種目中、県平均を23種目以上越える。)	57.3%	新体カテスト	5～6月に強化月間を設定して	A:70%以上の生徒が、全国平均を上回る。 B:上記65%以上70%未満。 C:上記Bに達しない。	C	県平均を越えた数 1年男子　2(31.6%) 1年女子　3(45.5%) 2年男子　3(55.0%) 2年女子　6(53.8%) 3年男子　5(71.4%) 3年女子　5(42.9%) 計24(49.5%) ( )は全国平均を超えた割合	○全体の底上げとともに個人の底上げの指導を強化する。 ○体力の二極化の対応を行う。 ・2学期の実施率は1年：月5．6日20名、2年：14．5日28名、3年：3．8日15名と定着はしていない。 ↓ ○自主トレのカードを工夫しながら定着を図る。
	2	運動に親しみ、自分の体力に向上が見られる生徒の割合が80%以上とする。	70.2%	学校生活アンケート	1学期末 2学期末	A:80%以上の生徒の体力に向上が見られる。 B:上記70%以上80%未満。 C:上記Bに達しない。	C	全校①70.7%②65.6% 1年 ①70.0%②60.0% 2年 ①79.4%②76.5% 3年 ①60.7%②57.1%	①家庭での自主トレを定着させる。 ②昼休みの体育館を活用する。 →男子の固定メンバーから全体へ ③学年朝会の活用する。 ④新2年生を強化する。 ⑤授業内容を工夫する。 （球技と強化のバランス重視）
運営活動目標	1	新体力テストの結果を分析し、生徒一人一人に目標をもたせたトレーニングを行う。 (1・2年生は、6種目中4種目向上させる生徒が80%以上)	男子 75% 女子 35%	新体力テスト2回目の結果	11月～12月	A:80%以上の生徒の体力が向上する。 B:上記70%以上80%未満。 C:上記Bに達しない。 新体力テストの種目中、室内で行う6種目を秋に再測定する。	B	実際の数値　B 1年:80%(男79、女82) 2年:61%(男60、女62) 全校:70%	○部活動と連携した家庭(自主トレ)の強化する。 ○運動量の確保する。→歩き方の改善(3学期の実践の継続) ・生徒玄関前に、身長-100cmのラインや行進の理想の歩幅70cmの目安を作り、歩き方から改善する。
	2	体力向上に向け、現状と対策を職員・保護者に周知する。 (昨年の4回以上の取組を実践する)	職員向け2回 学級学年2回	実際の発行回数	5～6月 11～12月	A:年間に3回行う。 B:年間に2回行う。 C:上記Bに達しない。	A	1学期 校内掲示 生徒向け　3回実施 2学期 職員向け1回 生徒向け2回	○26年度の取組を継続する。 ・2学期の実施内容 体育祭終了後　よさこいベスト5 北信越大会スローガン 部活動見学だより(6年生向け)2回

体の分野 【健康づくり目標達成計画】

	番号	評価項目	チェック	検証				備考	改善
			25年結果	何を使って	どのように	評価規準	結果		27年度アクションプラン
成果目標	1	家庭メディア時間を2時間以内で維持できる生徒が80%以上にする。	80.8%	元気アップ週間結果	①5月 ②7月 ③9月 ④11月 ⑤1月	A:家庭メディア時間2時間以内80%以上 B:70%以上 C:Bに満たない。	A	元気アップ数値 5月　80.6%　7月　78.3% 9月　83.0%　11月　89.3% 1月　80.7% (1年74.4%、2年84.5%、3年83.4%)	○ノーメディア・デーの啓発・実施・定着を図る。 「0の付く日はノーメディア・デー」を啓発し、定着を図る。(予定表に入れる、黒板への記入、保健だよりに関連記事を載せる、のぼり旗の設置、健康委員会による取組)
	2	新 夜11時までに就寝する生徒が90%以上にする。	(6時間以上) 96.3%			A:90%以上の生徒が夜11時までに就寝する。 B:80%以上の生徒ができている。 C:Bに満たない。	C	元気アップ週間 5月　70.3%　7月　72.9% 9月　79.0%　11月　68.3% 1月　61.9% (1年68.0%、2年66.5%、3年50.3%)	○小中連携の元気アップ週間を活用する。 ○家庭学習強調週間と連携したメディアから学習時間へ移行する取組を強化する。 ・26年3学期から対策の強化を始める。 ・3年生を中心とした継続した指導
	3	バランスの取れた朝食をとり登校する生徒が80%以上となる。	74.6%			A:バランスの良い朝食（主食・主菜・副菜）摂取80%以上 B:70%以上 C:Bに満たない。	C	元気アップ数値 5月　72.1%　7月　72.1% 9月　77.8%　11月　73.0% 1月　61.3% (1年59.2%、2年64.4%、3年60.3%)	○保護者へ周知徹底を図る。 ・学校評価で「適切な朝食を食べて登校している」という表現に変えた評価が前年と比較して上昇した。バランスの良いという表現をわかりやすく説明し、保護者に理解してもらうな取組を強化する。 ・保健室来室時における個別指導
運営活動目標	1	元気UP週間の取組の状況を、職員・保護者に知らせる。 2学期 (学期に5回、保健だよりを発行する。)	A	実際の発行回数	元気アップ週間後	A:年間5回以上発信した。 B:3回以上発信した。 C:Bに満たない。	A	2月3日現在 保健だより23号発行 (3学期に入り、インフルエンザ情報も随時発信している)	○26年度の取組を継続する。 ・元気アップ週間前に保健便りを発行し、保護者に取組への協力を依頼する
	2	学校保健委員会を1回開催し、生活習慣の問題について、当校の問題点や改善策について話し合う。 2学期 (メディア時間を2時間以内に維持できる生徒を育成するための学校保健委員会を開催する)	A	実際の実施回数	7月10日(木) 11月	A:年間2回開催した。 B:年間1回開催した。 C:1回も実施しなかった。	A	第2回　小中合同学校保健委員会の実施 11月26日(水)	○26年度の取組を継続しながら、実践の強化を図る。 ・学校保健委員会だよりの発行 今年度は、ノーメディアデーの取組を実施するために、町民会議などの団体とも連携した学校保健委員会を開催し、たよりも発行できた。27年度は、その定着を図るような取組を実践する年となる。

３．小中学校の連携から地域連携へ向けた取組

（メディアコントロールができる児童生徒育成へ向けた取組）

１　メデイアコントロールに向けた取組の概要

小中の連携

○リーフレット作成配付（5月）
「早寝.早起き.朝ごはん」にメディアコントロールを加えた。
○生活リズム点検を実施時期をそろえた。　(7,11,1月実施　)
１１月は中学校の定期テスト期間に実施して､小学校は家庭学習強調旬間にあてた｡メディアを減らして家庭学習、読書、余暇活動の充実等を目指した。
○カードの工夫
A 食事中はテレビを消す。
B 就時間前に電源OFF。
C ゲームをしない。
の３つのコースを作り選ばせた｡また学習時間等を記入できる欄を設けた。
○結果の活用
中学生はテレビやゲーム等のメディアを視聴する時間が少ないことを小学生に知らせ､中学生を目標にしようと意欲付けをした。

実態
・長時間利用
・睡眠学習時間の減少
・学区が広域
・利用のきまりがある子は６５％

めざす子供の姿

○　家の人とゲーム、ネットなどの約束を作っている。
○　１日に２時間以内である。
○　就寝１時間前にはメディアの接触を止め,深い睡眠を取る。
○　家族と楽しくふれ合う時間を増やす。
○　メディアリテラシーを身に付けトラブルに巻き込まれない。

各校の実践

○学級指導
小学校は点検カード配付時に生活リズムの観点で指導。
中学校はインターネットやSNS利用につい指導。
○保護者への啓発
小学校は親子で学習をする授業参観を実施。(11/21)低学年は睡眠の大切さを､中学年は携帯電話などの使い方とワンクリック詐欺などを､高学年は県警生活安全課長岡青少年サポートセンターからネットトラブルの実態等の話を聞いた。
中学校は新入生保護者入学説明会で､与板警察生活安全課より携帯電話等によるトラブルの実態等情報提供を受けた。
○学校だより、学年だより、保健だよりに取り上げた。
○学年懇談会のテーマにして家庭の実態や対策について意見交換をした。

地域連携

○教育研究会が作成するリーフレットに町の各分野から意見を聞き、連名にして配付（５月）
○子育て教育講演会を学校保健委員会が合同実施（７月１０日）
「脳の発達と生活リズム　～家庭で取り組める脳育て～」
子育て科学アクシス　　上岡 勇二 様　　　約９０人参加
○学校保健委員会と青少年育成出雲崎町民会議運営委員会の合同開催（１１月２６日）
約４０人　参加
○青少年育成出雲崎町民会議講演会　（１２月１２日）
「メディアが子供の心身に与える影響　～子供をどう守るべきか~」
長岡赤十字病院小児科　　田中 篤 様　約８０人参加
○ノーメディア・デーの設定
○ノーメディアのスローガン作成
○町全体への広報　　チラシ配付、のぼり旗設置、防災無線の活用、町広報紙の連載

２　①地域連携の実践例１

学校保健委員会と青少年育成出雲崎町民会議運営委員会の合同開催（１１月２６日）

会議の様子（グループごとの発表を聞いている）

全国的に問題になっているネット等による青少年の事例を憂慮して、青少年育成出雲崎町民会議はメディア問題を中心課題に取り上げていたので、小中合同学校保健委員会を合同で開催することになった。学校医、小中ＰＴＡ、保育園、行政関係者、町民会議運営委員等４０名が参加した。

当日は、児童生徒の健康課題とメディア接触の実態を学校職員が報告した後、グループに分かれ対策を話し合った。短い時間だったが熱心な協議が行われ、「町全体で取組む」「家族のふれあいを大切にする」「親しみやすいスローガンを募集する」「行動目標は各家庭で話し合い決める」「町全体に広報をする」等を決めることができた。

町内２つの保育園が参加したことで、今後健康問題についても保小中が連携していくことができるようになった。この合同会議の様子は１月に学校保健委員会だよりで保護者と全町内へ周知した。

②地域連携の実践例２

ノーメディアのスローガン選定　（１２月）

出雲崎町民全体へ取組を広げ、メデイアとかかわる時間を減らし、家族とのふれ合いや絆を深める時間にあてるためにスローガンを募集した。考えやすいように参考になるキーワードを提示し、親子で一緒に考えてもらった。兄弟関係も含め小学校では延べ約１００人、中学校７０人の応募があった。慎重に審査を重ね、最終審査では、小学４年生親子で考えた「ノーメディア　減らした分だけ　家族の時間」が選ばれた。また、「０のつく日は　ノーメディア・デー」という意見が最も多く、毎月 10 日・20 日・30 日がノーメディア・デーに決まった。

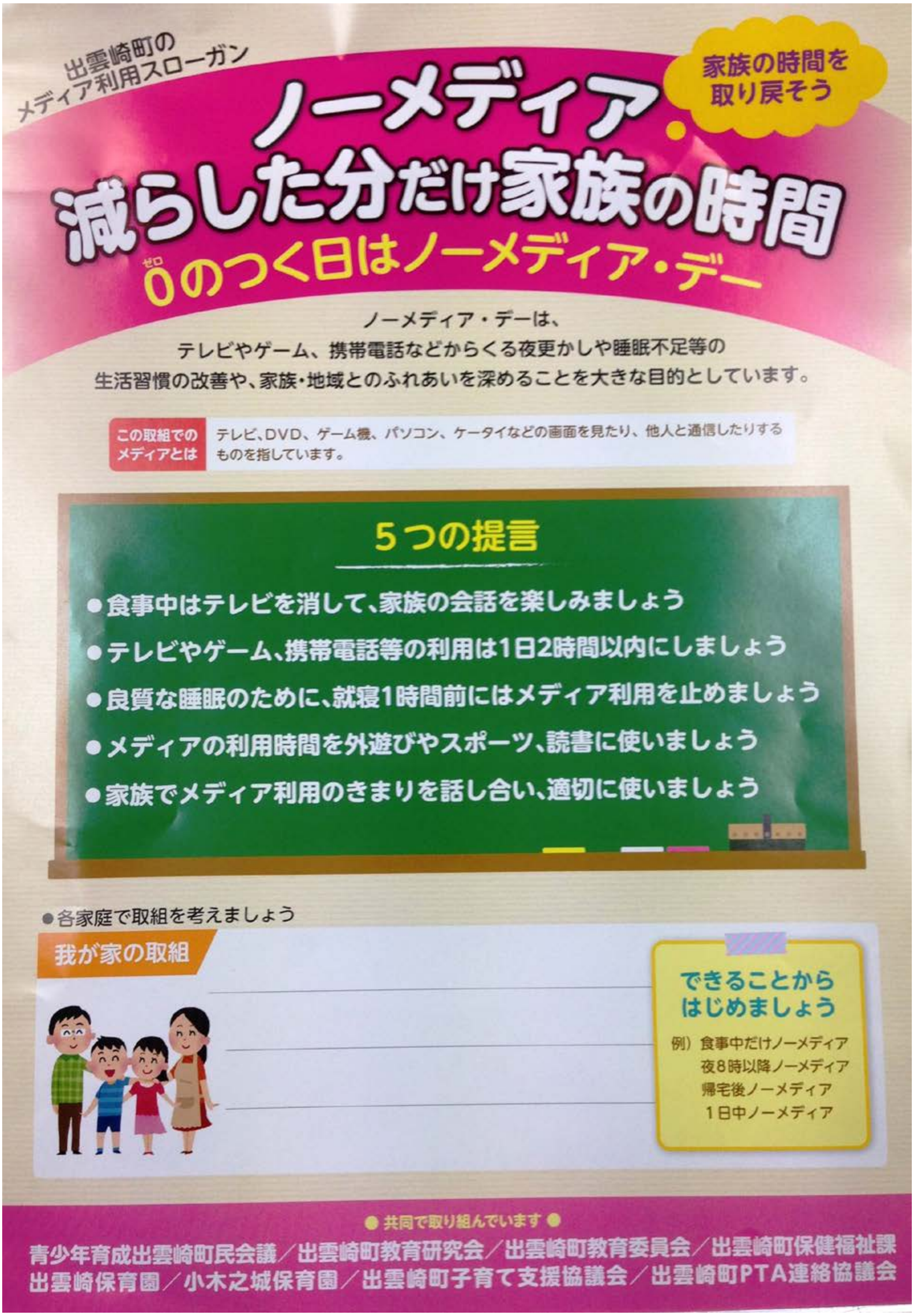
応募した児童生徒には参加賞の配付と、表彰式を行い、そして、全員でスローガンコールを行って子ども達と保護者の関心を一気に高めることができた。

このスローガンで「のぼり旗」を作成して、「０のつく日」には町の公共施設にのぼり旗を立てて、町民にアピールしていくことになった。

③地域連携の実践例３

ノーメディアのチラシ作成と配付　（１月）

チラシは児童生徒の家庭だけでなく、行政区長を通じて全町内に配付した。



３　成果と課題

① 成果

　１月 20 日は初めてのノーメディア・デーであった。町内の防災無線放送では、これまでの経緯や目的をていねいに説明して、「家族で楽しい時間を過ごしましょう」と呼びかけた。

　意識して過ごしたという子どもは 75％で、関心が高かったことがうかがわれる。メデイアを減らした分の時間はどのように過ごしたのか調べたところ、小学校では、お父さんから囲碁を教えてもらった、トランプをした、ゆっくりお風呂に入った、家族と会話をしたなど、「楽しかった」という子どもが多かった。

ノーメディア・デー児童玄関ののぼり旗

　中学校では、学習時間の確保にまわした生徒が多かった。

〇ゲームやテレビ,ネットの時間が減少し,生活をふり返る子どもと家庭が増えた。

　ゲームやテレビ,ネットなどが１日に２時間以内だった子供の変化

	７月調べ	11月調べ	前回増減	１月調べ	前回増減
小学　１年	８３　％	７６　％	↘	８２　％	↗
２年	７８　％	７１　％	↘	７６　％	↗
３年	８１　％	５６　％	↘	６５　％	↗
４年	７９　％	５８　％	↘	６７　％	↗
５年	７５　％	４８　％	↘	８６　％	↗
６年	６２　％	６０　％	↘	６０　％	―
中学　１年	７１　％	９２　％	↗	７４　％	↘
２年	８２　％	９３　％	↗	８５　％	↘
３年	７８　％	９４　％	↗	８３　％	↘

〇７月は外遊びや部活動が盛んにに行われていたので、全体に良好だった。
〇11月は中学校の試験期間だったので中学は高水準になった。
〇１月は町全体の取組が始まった効果で改善。7月の頃と同程度になった。

子供の感想　・お手伝いをしてお父さんから褒められた。（小１）・勉強の時間が増えた。（小５）
・家族との会話が多くなった。（小３）・これからも続くといい。（小３）
・勉強時間が長くなった。（中）

保護者の感想　・ノーメディアは今まで考えたこともなかったので、とても良い機会になった。
・家族のみんなで心がけることができた。
・テレビを消して食事をしたら、学校のことをたくさん話してくれた。

②課題

〇小学校中学年位から、意識している・意識していないの二極化傾向になっている。行動変容につながる集団指導の工夫と、生活をふり返らせて時間の使い方を考えさせる個別指導の実施が必要である。

〇３世代同居の家庭では、テレビを付けたままにして生活を続けてきた家が多く、急な変化が難しい。町全体の取組を浸透させていく。

〇今後はノーメディア・デーがマンネリ化せずに継続していく方法を考え、発信していく。

ゲームより家族と

【出雲崎】子どもの電子ゲーム機や携帯電話の長時間利用を防ぐ町のスローガンが決まり、8日、出雲崎小で表彰式が開かれた＝写真＝。

教育関係者らでつくる「青少年育成出雲崎町町民会議」などが町の小中学生から募集。136点の応募の中から同小4年、内藤琉雅君(10)の「ノーメディア　減らした分だけ家族の時間」が最優秀賞に選ばれた。

式では内藤君や優秀賞の3人を表彰。内藤君は「ゲームより、弟と遊んだりして家族と過ごす時間を大事にしたい」と話した。

町民会議や町教育委員会は1月から、毎月10、20、30日をゲーム機などをしない「ノーメディア・デー」と定め、長時間利用を防ぐ啓発を進める。

新潟日報 H27.1.10

➤概　要

町教育研究会では、小中学校合同保健委員会が中心となり、小中の連携から学校・家庭・地域の連携へと、「地域と歩む特色ある学校づくり」を推進した中で、メディアコントロールができる児童生徒の育成に向けた取組に努めてきた。子育て教育講演会も小中学校が合同で実施した。

また、青少年育成出雲崎町民会議と共同でメディアコントロールに向けた取組とした。講演では、長岡赤十字病院小児科部長の田中篤先生から『メディアが子どもの心身に与える影響〜子供をどう守るべきか〜』として、インターネットやゲーム機が社会的な危険性を持つだけでなく、子どもの愛着形成や心身の発達に及ぼす悪影響についての話があった。保護者や地域の人達にとっては、子どもとのふれあい方、家族同士の接し方など大変参考になるお話をいただいた。

➤成果と課題

ノーメディアの取組は、小中学校と青少年育成出雲崎町民会議にとどまらず、保育所、PTA、行政・教育機関なども結集して、町民運動として展開を始めている。児童生徒から募集した標語から『ノーメディア 減らした分だけ家族の時間』〜０（ｾﾞﾛ）のつく日はノーメディア・デー〜として、各家庭による自主的な取り組みを呼びかけている。さらに、平成27年度からは放課後や“０のつく日”の夜間の取組の方策を行政主導で考えている。

学校支援本部事業では、各学年で取組の内容を検討しながら、実施しているが、多くの町民の方々からボランティアに参加していただいた。

今年度も、延べ1,000 人を超えるボランティアから、ご協力いただき、正に学校を地域みんなで盛り上げてきている。

また、「未来の夢子ども体験講演会」、「文化芸術鑑賞会」など、子どもたちの未来に希望が持てる夢を与えながら、今後も、事業内容の充実を図り、感性豊かな心の教育を進めていきたい。

４．全国学力・学習状況調査結果

（児童生徒に関する調査）　　　　（※は新規）

『自分自身について』

【選択肢】

１―当てはまる　　２―どちらかと言うと当てはまる
３―どちらかというと当てはまらない　４―　当てはまらない

（数値は、％）

◎　ものごとを最後までやり遂げ、うれしかたことがありますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	58.1	32.3	9.7	0.0
県平均	74.1	21.9	3.3	0.6
全国平均	71.5	22.9	4.4	1.2
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	60.0	36.0	4.0	0.0
県平均	71.1	23.4	4.0	0.9
全国平均	71.1	22.8	4.6	1.4

◎　難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	25.8	48.4	22.6	3.2
県平均	26.5	53.1	18.3	2.1
全国平均	23.7	51.4	21.6	3.2
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中校	0.0	48.0	48.0	4.0
県平均	19.6	58.2	24.3	2.8
全国平均	17.0	51.0	27.8	4.1

◎　自分には、よいところがあると思いますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	29.0	45.2	19.4	6.5
県平均	35.4	43.2	16.1	5.1
全国平均	35.0	41.1	16.7	7.0
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	8.0	36.0	48.0	8.0
県平均	24.5	45.7	22.5	7.3
全国平均	24.3	42.8	23.3	9.4

◎　友達の前で自分の考えや意見を述べることは得意　※

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	12.9	38.7	25.8	22.6
県平均	18.9	31.7	36.0	13.4
全国平均	19.3	30.2	34.2	16.2
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	8.0	32.0	44.0	16.0
県平均	15.5	33.9	37.9	12.7
全国平均	15.7	32.9	36.2	15.2

◎　友達に伝えたいことを上手く伝えることができますか。　※

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	３２.３	３８.７	１９.４	９.７
県平均	３１.２	４８.５	１７.２	３.０
全国平均	２７.３	４７.５	２０.６	４.６
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	１２.０	５６.０	２８.０	４.０
県平均	２６.４	４９.８	２０.９	２.９
全国平均	２２.３	４８.０	２４.７	４.９

◎　友達と話し合うとき、最後まで話を聞くことができますか。　※

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	６１.３	３８.７	０.０	０.０
県平均	６０.９	３３.４	４.８	０.０
全国平均	５４.３	３７.４	７.０	１.２
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	２８.０	６８.０	４.０	０.０
県平均	５８.６	３６.５	４.３	０.６
全国平均	５１.８	４０.４	６.６	１.０

◎　将来の夢や目標を持っていますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	７１.０	１９.４	３.２	６.５
県平均	６９.０	１７.９	８.３	４.８
全国平均	７０.７	１６.０	７.６	５.５
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	３２.０	３２.０	２８.０	８.０
県平均	４２.２	２９.５	１９.２	８.９
全国平均	４６.０	２５.４	１７.７	１０.６

『テレビ、ゲーム等に費やす時間』

【選択肢】

１―４時間以上　　２―３～４時間　　３―２～３時間　　４－１～２時間
５―１時間以下　　６―全く見たり聞いたりしない　　（数値は、％）

◎　月～金１日当たりのＴＶ、ビデオ、ＤＶＤの視聴時間はどれくらいか。

選択肢	1	2	3	4	5	6
出雲崎小学校	２５.８	３２.３	２２.６	１２.９	３.２	３.２
県平均	１７.５	１９.８	２６.０	２５.０	１０.７	０.９
全国平均	１９.８	１８.２	２３.３	２４.５	１２.６	１.５
選択肢	1	2	3	4	5	6
出雲崎中学校	４.０	１２.０	２４.０	４８.０	８.０	４.０
県平均	１３.０	１５.８	２６.６	２８.８	１４.２	１.４
全国平均	１５.７	１５.８	２５.０	２７.３	１４.５	１.７

◎　月～金１日当たりどれくらいテレビゲームをしますか。

選択肢	1	2	3	4	5	6
出雲崎小学校	９.７	１２.９	１６.１	１２.９	３８.７	９.７
県平均	７.４	８.４	１４.８	２６.４	３１.２	１１.７
全国平均	８.９	８.１	１３.３	２４.４	３１.８	１３.４
選択肢	1	2	3	4	5	6
出雲崎中学校	０.０	２０.０	２４.０	１２.０	３２.０	１２.０
県平均	８.５	１０.１	１６.６	２２.６	２５.３	１６.８
全国平均	１１.０	９.３	１５.１	２１.０	２６.７	１６.８

【選択肢】

１―４時間以上　　２―３～４時間　　３―２～３時間　　４－１～２時間
５―３０分～１時間以下　　６―３０分以下　　７―持っていない

◎　月～金１日当たりどれくらい携帯・スマホ・インターネットをしますか。（除くゲーム）

選択肢	1	2	3	4	5	6	7
出雲崎小学校	３.２	０.０	０.０	９.７	１９.４	６.５	６１.３
県平均	１.８	１.９	３.５	６.０	９.１	２１.５	５６.１
全国平均	２.７	２.３	３.７	６.４	１０.４	２８.２	４６.３
選択肢	1	2	3	4	5	6	7
出雲崎中学校	４.０	４.０	４.０	８.０	８.０	１２.０	６０.０
県平均	６.９	７.８	１２.４	１５.４	１２.４	１１.７	２３.１
全国平均	１１.０	８.８	１２.９	１５.０	１３.０	１５.５	２３.５

『家庭学習時間』

【選択肢】

１―３時間以上　　２―２～３時間　　３―１～２時間　　４－３０分～１時間
５―３０分以　　６―全くしない　　（数値は、％）

◎　月～金１日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。

選択肢	1	2	3	4	5	6
出雲崎小学校	０.０	９.７	２５.８	５８.１	６.５	０.０
県平均	３.６	１０.１	５６.０	２５.４	３.９	０.８
全国平均	１１.２	１４.６	３６.２	２５.２	９.５	３.２
選択肢	1	2	3	4	5	6
出雲崎中学校	０.０	４.０	２０.０	４８.０	２０.０	８.０
県平均	３.０	１５.２	４１.２	２４.６	１０.８	５.１
全国平均	１０.４	２４.７	３２.８	１７.３	９.０	５.７

◎　土・日等学校が休みの日に１日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。

選択肢	1	2	3	4	5	6
出雲崎小学校	６.５	０.０	３.２	２５.８	５１.６	１２.９
県平均	２.０	３.８	１２.４	４７.５	３０.７	３.５
全国平均	６.４	５.１	１２.５	３１.９	３３.４	１０.６
選択肢	1	2	3	4	5	6
出雲崎中学校	０.０	０.０	８.０	２４.０	６８.０	０.０
県平均	３.７	９.０	２２.９	３４.０	２２.５	７.８
全国平均	５.８	１１.７	２３.４	２７.１	２１.２	１１.３

『家庭学習に関する意識』

【選択肢】

［１―当てはまる　　　２―どちらかと言うと当てはまる
３―どちらかというと当てはまらない　　４―　当てはまらない］　　（数値は、％）

◎　家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	１２.９	３５.５	４８.４	３.２
県平均	３２.６	３８.８	２３.９	４.６
全国平均	２６.０	３５.０	２９.２	９.８
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	４.０	１６.０	６０.０	２０.０
県平均	１６.０	３２.３	３８.０	１３.６
全国平均	１５.２	３１.４	３７.４	１５.９

◎　家で、学校の宿題をしていますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	７４.２	１６.１	９.７	０.０
県平均	８６.１	１０.７	２.７	０.５
全国平均	８６.０	１０.５	２.８	０.６
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	４０.０	５６.０	４.０	０.０
県平均	５８.９	２７.２	１０.１	２.７
全国平均	６３.７	２４.５	８.７	３.０

◎　家で、学校の授業の予習をしていますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	１２.９	６.５	６１.３	１９.４
県平均	１５.０	２８.２	４１.４	１５.３
全国平均	１６,１	２７.１	３７.４	１９.２
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	０.０	４.０	４０.０	５６.０
県平均	６.５	１７.３	４１.６	３３.４
全国平均	１１.０	２３.２	３７.６	２８.０

◎　家で、学校の授業の復習をしていますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	１６.１	１２.９	５１.６	１９.４
県平均	２１.７	３５.５	３２.８	９.９
全国平均	２１.９	３２.１	３１.１	１４.９
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	０.０	１６.０	５２.０	３２.０
県平均	１３.６	３１.８	３６.０	１８.５
全国平均	１７.５	３２.９	３２.１	１７.５

『規範意識』

1―当てはまる　　2―どちらかと言うと当てはまる
3―どちらかというと当てはまらない　　4―　当てはまらない　　（数値は、%）

◎　学校きまりを守っていますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	２２.６	７４.２	３.２	０.０
県平均	４２.１	５０.２	６.７	０.８
全国平均	３９.９	５０.６	８.２	１.３
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	２４.０	６０.０	１６.０	０.０
県平均	５７.４	３７.３	４.４	０.９
全国平均	５５.６	３７.４	５.５	１.４

◎　人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	５４.８	３８.７	６.５	０.０
県平均	７８.０	１８.５	２.６	０.９
全国平均	７４.１	２０.３	４.０	１.６
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	５６.０	４４.０	０.０	０.０
県平均	７９.９	１６.６	２.５	１.０
全国平均	７７.８	１７.５	３.０	１.６

◎　いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	６７.７	１９.４	９.７	０.０
県平均	８５.８	１１.７	１.７	０.７
全国平均	８２.１	１４.３	２.５	１.１
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	５２.０	４８.０	０.０	０.０
県平均	７６.５	１８.４	３.８	１.３
全国平均	７２.１	２１.３	４.６	１.９

『教科について』

◎　国語の勉強は好きですか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	２２.６	２５.８	３８.７	９.７
県平均	２２.３	３９.８	２６.７	１１.１
全国平均	２２.９	３６.３	２６.５	１４.１
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	４.０	２８.０	５２.０	１６.０
県平均	１８.６	３８.８	３０.５	１２.０
全国平均	２１.４	３６.８	２８.１	１３.５

◎　国語の勉強は大切だと思いますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	４１.９	４５.２	６.５	３.２
県平均	６６.５	２７.４	４.８	１.２
全国平均	６４.０	２７.８	６.０	２.２
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	２４.０	７２.０	４.０	０.０
県平均	５３.５	３６.９	７.１	２.４
全国平均	５３.３	３５.７	７.８	３.０

◎　国語の内容はよく分かりますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	２５.８	４８.４	２２.６	０.０
県平均	３６.３	４８.５	１２.３	２.７
全国平均	３３.４	４６.７	１５.５	４.３
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	４.０	６４.０	２４.０	８.０
県平均	２１.５	５３.１	２０.８	４.５
全国平均	２２.６	４９.４	２１.９	５.９

◎　国語の授業で学習したことは、将来役立つと思いますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	４８.４	４１.９	６.５	３.２
県平均	５６.９	３３.６	７.７	１.７
全国平均	５３.６	３３.８	９.７	２.８
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	２４.０	６８.０	８.０	０.０
県平均	４４.３	４０.９	１１.５	３.２
全国平均	４２.２	４０.３	１３.０	４.３

◎　数学・算数の勉強は好きですか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	３５.５	１９.４	１９.４	２５.８
県平均	３６.２	２９.７	２１.４	１２.８
全国平均	３８.４	２７.７	１９.３	１４.４

選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	１２.０	４０.０	４０.０	８.０
県平均	２６.７	２８.８	２６.４	１７.９
全国平均	２９.３	２７.３	２３.８	１９.３

◎　数学・算数の勉強大切だと思いますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	６７.７	２２.６	６.５	３.２
県平均	７３.２	２０.６	４.６	１.５
全国平均	７２.１	２０.２	５.１	２.４

選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	３２.０	６８.０	０.０	０.０
県平均	４７.３	３６.１	１２.０	４.４
全国平均	４７.７	３４.４	１２.１	５.５

◎　数学・算数の授業の内容はよく分かりますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	３８.７	３８.７	１２.９	９.７
県平均	４４.９	３８.０	１３.４	３.６
全国平均	４４.７	３４.９	１４.９	５.３

選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	８.０	８４.０	８.０	０.０
県平均	３１.６	４１.３	１９.９	７.０
全国平均	３３.０	３８.５	１９.８	８.３

◎　数学・算数の授業で学習したことは、将来社会で役立つと思いますか。

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	６４.５	１９.４	１２.９	３.２
県平均	６７.１	２３.９	７.２	２.０
全国平均	６５.８	２３.４	７.９	２.９

選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	２０.０	６８.０	１２.０	０.０
県平均	３８.３	３５.８	１８.６	７.０
全国平均	３６.７	３４.７	１９.２	９.０

『指導法について』

◎　前学年の授業で、授業開始のときに、目標（めあて、ねらい）が示されていたか。　※

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	４８.４	３２.３	１６.１	３.２
県平均	５０.１	３２.９	１３.８	３.０
全国平均	５０.９	３１.１	１３.８	４.２
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	８.０	４８.０	４０.０	４.０
県平均	３１.２	４２.１	２１.５	５.１
全国平均	３２.９	３８.６	２１.５	６.９

◎　前学年の授業で、学習内容を振り返る活動をよく行っていたか。　※

選択肢	1	2	3	4
出雲崎小学校	３２.３	４８.４	１２.９	６.５
県平均	３８.３	３７.５	１９.１	４.７
全国平均	３４.５	３７.４	２０.８	６.９
選択肢	1	2	3	4
出雲崎中学校	４.０	３６.０	５６.０	４.０
県平均	１７.６	３９.１	３３.９	９.２
全国平均	１５.６	３７.７	３４.６	１１.６

➤概　要

小中学校ともに家庭学習の時間的不足が明らかである。家庭では宿題をしているが、学校の授業の予習・復習までは到っていない。

小中学校の 9 年間を見通した連携を図り、家庭学習の指導にも発達段階に応じた指導を進めている。どの段階でどのような指導を行うことが必要なのか、学校と家庭、教育委員会が連携を取りながら、家庭学習の充実・定着を図っている。

➤成果と課題

家庭内で、メディアやゲーム機の決まりを話し合っているところでは、メディアにかかわる時間が短くなる傾向がはっきりした。基本的な生活リズムで、児童生徒の実態からメディアコントロール力を高めることが喫緊の課題である。昨年度の合言葉「早寝　早起き　朝ご飯」の取組から、「メディアコントロールと早寝、早起き、朝ご飯」に変えて取り組んできた。

授業規律や家庭学習習慣の確立については、小学校の実態を中学校へつなげる、同一歩調、連続性のある取組で効果をあげている。あいさつ、家庭学習強調週間、メディアコントロールなどは、小中連携して取り組む流れができてきた。学校、家庭、地域をあげての取組になってきて効果が期待できる。

Ⅲ　社会教育事業の実施状況

1．社会教育・公民館事業

①青少年教育事業

事業名	事業の対象	実施内容
めばえ教室	1歳から3歳までの保育園入園前の幼児とその保護者	・親子の触れ合いを高め、子どもたちの輪を広げ、さらに親同士が悩みや喜びを語り合える仲間づくりを行うため、全20回実施（4月開始)。 ・金曜日の午前10時から開催 ・体制は、保育士、相談員、町の保健師 ・参加親子　15組
出雲崎ッズ	小学校1〜6年生の児童	・夏休みや放課後の時間を利用し、学校外で普段できないような英会話教室やコオーディネーション（運動能力や運動神経の向上を図る）トレーニング、ニュースポーツを体験する。 ・参加児童　低学年31人、高学年16人

めばえ教室（10月25日）

出雲崎ッズ（英会話教室）

②成人教育事業

事業名	実施内容	
出雲崎総合大学	・全 15 回開催（6 月 7 日～12 月 15 日） ・今年度入学者数　　47 人（開催時申込者数） ・学習内容	
	文化コース	・良寛講座 ・良寛の書を学ぶ ・探訪ツアー　～出雲崎宮大工訪問Ⅴ～（上越市方面） ・地元の企業見学　～磯野紙風船の見学＆体験～ ・地元の食材料理　～上手に〝えご〟を煉る～
	理科コース	・健康教室　体の健康　～運動編～ ・環境講座　～日本のモグラ地図～ ・植物講座　～小木ノ城の樹叢を見る～ ・保健福祉課連携講座　～介護予防を学ぶ～ ・新幹線車両センター＆鉄道資料館の見学
	歴史コース	・佐渡世界遺産出前講座 ・出雲崎の漁場紛争 ・展覧会鑑賞　～法隆寺　祈りとかたち～ ・島根県出雲市（出雲国、出雲大社）との関わり ・石油鉱業の話し

理科コース
（6 月 27 日：植物講座）

文化コース
（9 月 27 日：探訪ツアー）

文化コース
（10 月 24 日：地元の企業見学）

③町民文化教室事業

事業名	実施内容
絵画教室	・毎月第 2、第 4 木曜日の 13:30～15:30 に実施 ・前期（5～10 月、全 12 回）　参加者 11 人 　後期（11～3 月、全 10 回）　参加者 11 人 ※11 月 2,3 日の生涯学習フェスティバルに出展
パソコン教室	・平日の 18:30～20:30 に実施 インターネット活用コース：7 月 1 日～9 日に実施（全 6 回）　参加者　11 人 デジタルカメラ活用コース：9 月 1 日～9 日に実施（全 6 回）　参加者　14 人 年賀状コース：11 月 4 日～7 日に実施（全 4 回）　参加者　10 人
料理教室	・土曜日の午前中に実施 ・全 1 回開催 ・6 月 28 日、参加者数　14 人 　［子供も一緒に作れる夏野菜を使ったメニュー］
ガーデニング教室	・全 8 回開催（6 月開講） ［ハンギングバスケット、観葉植物レッスン、庭木の手入れなど］ ・参加者数　13 人
【新規】 書道教室	・第 1、第 3 木曜日の 19:00～21:00 に実施 ・全 6 回開催 ・参加者数　13 人 ・年賀状や冠婚葬祭など、毛筆や筆ペンで文字を書く
【新規】 英会話教室	・毎週木曜日の 19:00～20:00 に実施 ・前期（6～9 月、全 16 回）　参加者 14 人 　後期（10～1 月、全 14 回）　参加者 11 人 ・英語に興味のある方など、簡単な英会話を習得

絵画教室

料理教室

④文化活動事業

事業名	実施内容
二松学舎大学 源川ゼミ合宿	・8 月 9 日～11 日に源川教授及びゼミ生 25 人が来町 ・源川先生講演会 開催日：8 月 10 日　来場者数：約 100 人 ・町民との書道による交流会 開催日：8 月 9 日～10 日　来場者数：約 50 人
東京藝大生招致事業	・8 月 3 日～6 日に藝大生 10 人が来町 ・出雲崎中学校の生徒を対象にスケッチ画講習会や作品鑑賞会の実施。完成した作品は、町へ寄贈。
第 10 回 良寛さん心の書道展	・対象　出雲崎小、中学生 ・応募総数　280 点 ・9 月 13 日～23 日の期間に中央公民館講堂に作品展示
第 8 回 未来の夢 こども体験講演会	・対象　出雲崎小、中学生及び一般町民　来場者　650 人 ・開催日　10 月 29 日 ・講師　作家の乙武洋匡　氏
文化芸術鑑賞会	・対象　出雲崎小、中学生及び一般町民　来場者　500 人 ・開催日　5 月 14 日 ・内容　山形交響楽団による、プロのオーケストラ演奏を鑑賞
第 24 回奥の細道天の河俳句大会兼芭蕉『銀河序』建碑 60 周年記念	・開催日　10 月 18 日 ・兼題の部 投句者数　238 人　　投句数　1,180 句 ・記念講演 「奥の細道紀行を語る」　黒田杏子氏、橋本榮治氏
生涯学習フェスティバル	・作品展示 11 月 2 日～3 日　　出展者　16 団体＋個人 24 人 ・ステージ発表 11 月 3 日　　出場団体　14 団体 ・その他の催し物（11 月 3 日実施） ◎町民茶席（町婦人会） ◎防災コーナー、交通安全コーナー（総務課） ◎環境啓発コーナー（町民課） ◎健康づくりコーナー（保健福祉課） ◎廃棄図書の無料配布（図書館）
公民館文化サークル 活動助成	・4 サークル（スポーツダンス、陶芸、太極拳、大正琴）に助成

事業名	実施内容
良寛記念館関係	・春の企画展（4 月 1 日～6 月 30 日） ～語り継ぎたい良寛さんのお人柄～ 作品鑑賞会　4 月 19 日実施　36 人が参加 ・夏の企画展（8 月 1 日～9 月 30 日） ～詩と歌に味わう良寛の心～ 作品鑑賞会　7 月 26 日実施　24 人が参加 ・秋の企画展（10 月 1 日～12 月 28 日） ～良寛の書の世界～ 特別講演会　　～良寛の書の形成について～ 講師　小島 正芳 様 10 月 11 日実施　来場者数　80 人が参加 ・新春企画展（1 月 4 日～3 月 31 日） ～在世時の良寛像～ 作品鑑賞会　1 月 24 日実施　19 人が参加
良寛学習	・方針　良寛の遺徳と慈愛の精神を大切に思い、地域の誇りとして後世に語り継げることを目標に、良寛学習を実施する。 ・対象　出雲崎小、中学生 ・期間　小学校 1 年生～中学校 3 年間までの 9 年間 ・テーマ　小学生は「良寛さまはどんな人」 中学生は「良寛の心を知ろう」
第 37 回 全国良寛会出雲崎大会	・開催日　6 月 7,8 日　　来場者　750 人 ・記念講演　「良寛さまの禅の世界－『法華讃』のこころ」 講師　東洋大学長　竹村 牧男 様 ・書道パフォーマンス、町内史跡めぐり

二松学舎大学源川ゼミ合宿

文化芸術鑑賞会

生涯学習フェスティバル

生涯学習フェスティバル
（ステージ発表）

⑤学社連携事業

・学校‣家庭‣地域の連携促進事業（学校支援地域本部事業）

田植え（小学生）

福祉施設訪問（中学校）

⑥町活性化事業

・出雲崎宝もの新発見事業　　届出総数　316 件（平成 26 年 3 月 31 日現在）
　詳細調査実施
　　建造物（神社、お寺）　27 件　　　石碑、石仏、道標　11 件

⑦その他事業

事業名	実施内容
生涯学習 カレンダー作成	町、学校、社協などの実施事業を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に配布する。（作成予定部数 1,850 部）
公民館だより作成	毎月 1 回（4 ページ）、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」発行し、町の全世帯に配布している。なお、仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。

出雲崎宝もの新発見事業　冊子

公民館だより

⑧公民館利用者数

平成 25 年度		平成 26 年度	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
2,803 人	11,406 人	2,558 人	12,289 人

2．図書館事業

①図書館利用状況について

表１：分類別利用状況

	平成 25 年度		平成 26 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総　　記	33 冊	9 冊	13 冊	17 冊
哲　　学	50 冊	36 冊	29 冊	30 冊
歴　　史	51 冊	35 冊	28 冊	35 冊
社会科学	69 冊	45 冊	40 冊	55 冊
自然科学	64 冊	62 冊	39 冊	52 冊
技　　術	105 冊	24 冊	110 冊	31 冊
産　　業	35 冊	9 冊	26 冊	18 冊
芸　　術	111 冊	28 冊	125 冊	28 冊
言　　語	17 冊	2 冊	15 冊	3 冊
文　　学	2,029 冊	980 冊	1,965 冊	802 冊
雑　　誌	140 冊	19 冊	112 冊	21 冊
計	2,706 冊	1,249 冊	2,609 冊	1,283 冊

表２：図書貸出年齢別貸出人数

	平成 25 年度		平成 26 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
成人（23 歳以上）	1,113 人	464 人	1,114 人	587 人
学生・生徒（13 歳～22 歳）	17 人	6 人	19 人	7 人
児童（12 歳以下）	81 人	15 人	79 人	17 人
合計	1,211 人	485 人	1,212 人	611 人

表３：年齢別図書館利用人数

	平成 25 年度		平成 26 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
成人（23 歳以上）	519 人	88 人	439 人	85 人
学生・生徒 （13 歳～22 歳）	50 人	27 人	53 人	24 人
児童（12 歳以下）	183 人	19 人	249 人	28 人
合計	752 人	134 人	741 人	137 人

表４：図書購入状況

	平成 25 年度		平成 26 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総　　記	3 冊	3 冊	2 冊	4 冊
哲　　学	9 冊	9 冊	16 冊	5 冊
歴　　史	12 冊	11 冊	21 冊	8 冊
社会科学	22 冊	23 冊	37 冊	18 冊
自然科学	19 冊	30 冊	38 冊	14 冊
技　　術	14 冊	9 冊	33 冊	10 冊
産　　業	3 冊	11 冊	5 冊	3 冊
芸　　術	34 冊	15 冊	31 冊	11 冊
言　　語	4 冊	3 冊	5 冊	4 冊
文　　学	321 冊	226 冊	266 冊	190 冊
計	441 冊	340 冊	454 冊	207 冊
（雑誌種類）	7 種類	4 種類	7 種類	3 種類

②その他事業

事業名	**実施内容**
ブックスタート事業	1 歳 6 ヶ月になる児童に絵本 2 冊を贈呈する。
親子文庫	小学校を通じて、小学 2～5 年生の家庭に対し、本のセット（児童とその保護者）を貸し出す。
除籍図書の無償配布	11 月 2 日.～3 日の生涯学習フェスティバルにおいて、除籍した図書を無償で配布する。

未来の夢こども体験講演会　　良寛記念館（特別講演会）

➤概　要

生涯学習や公民館事業については、例年同様に青少年、成人向けに分けて事業展開をしてきた。特に出雲崎総合大学としては、理科などのコース別に講座を開設しながら、事業の特色を出して受講者の増加を図ってきた。

また、図書館事業では、新刊の購入に「希望図書記入カード」を活用して利用者のニーズを把握するなどしながら、利用者の利便性の向上に努めてきた。

文化・芸術事業については、東京藝大生の街並スケッチ画招致事業、今年で 4 年目となる二松学舎大学書道部合宿をはじめ、『山形交響楽団』による「オーケストラ公演」事業、生涯学習フェスティバルなど、特色ある取組がなされた。

また、平成 23 年度から 3 か年事業として始めた「出雲崎宝もの新発見事業」については、昨年度に宝物冊子を作製し、地域において守り伝えていけるよう地域力の醸成に努めてきた。更に、今年度から 2 ヵ年の予定で、町内にある神社・仏閣・石仏・道標などの詳細調査を実施し、貴重な宝物は文化財指定などに繋げ、町の文化力の強化・魅力の発信をしていきたい。

➤成果と課題

「親子文庫」は、本に関心のある親子が多く参加していただき盛会であった。また、図書の無料配布は、毎回好評であり、これからも継続したい。

「出雲崎ッズ事業」は、今年度からは放課後や夏休み中に事業を展開して、回数も増やしたことで好評であった。今後も、学校等と連携を取りながら児童生徒に事業の内容について、興味・魅力度などをピーアールしていきたい。

特に、メディアコントロールを町全体で取り組むなかで、今年度から「ノーメディア・デー」を設定しているが、家庭における家族のだんらんとともに生涯学習の場において放課後等で親子の参加できる行事等の幅広いメニューを提供する取組を始めており、次年度においても継続したい。

「宝もの新発見事業」については、宝物を守る・守っていくという町民の意識をさらに高めていくためには、「何をすべきか」という大きな課題があるが、詳細調査を進めて、文化的な価値の高いものを確実に後世に伝えていく必要がある。

大学の合宿関係では、「二松学舎大学の書道合宿」について次年度が 5 年目となり、学生と児童生徒・一般町民の方々との関わり、繋がりが定着してきた。今後も交流をさらに深化させ、大切な町の事業に位置づけていきたい。

「東京藝大生招致事業」については、招致形態が民間交流から町事業への位置づけの中で、町民の方はもちろん小学生・中学生との交流、学生による指導の場

も設けられ、交流のすそ野が広がった。昭和62年の夏から街並み保存活動の一環としての民間交流から始まり、まもなく29年目を迎える大変伝統ある事業である。今後も学生達から未来に残る出雲崎の街並みスケッチ画を数多く残してもらい、旧津又邸の改修計画と合わせて交流人口の増加に結び付くように、作品展示の工夫も凝らしていきたい。

第10回目を向えた「良寛さんの心書道展」を記念して、入賞作品を一覧する冊子を作成した。次年度は第11回目となり、この事業が出雲崎の児童生徒の書道の向上、発展に大きく寄与している。「良寛の人物像・良寛の書」を含めた良寛学習を推進していく上でも貴重である。

良寛記念館は、町直営となって2年目となった。当町で生まれ育った良寛の遺墨や関連資料とともに、良寛の遺徳を後世に引き継ぐことが重要である。4回にわたる企画展を開催して、館長の展示品解説や特別講演会を行ってきた。2月から常勤の学芸員を館長代理として迎えたことで、職員の体制が整った。ホームページも更新されたこともあり、更に「良寛生誕の地である出雲崎」の情報発信を進めていきたい。

3．社会体育事業

①町内大会

大　会　名	実施日	備　　考
第34回　町民ソフトボール大会	6月　8日(日)	7チーム　83人
第36回　町民バレーボール大会	6月29日(日)	8チーム　77人
第8回　町民ウォーキング	9月28日(日)	79人
第33回　町内ゲートボール大会	10月14日(火)	10チーム　80人
第25回町民ソフトバレーボール大会	11月16日(日)	16チーム　80人
第28回　屋内ゲートボール大会	2月13日(金)	10チーム　72人
第34回　町民バドミントン大会	3月　1日(日)	16チーム　60人

町民ソフトボール大会

町民バレーボール大会

②スポーツ教室等

大　会　名	実施日	備　　考
わんぱく水泳教室	7月28日～8月1日	申込：38人　延べ：167人
柔道教室	通年（火・金）	10人
剣道教室	通年（月・金）	9人
柔剣道昇級審査会	12月7日(日)	19人
さわやかスポーツ教室	通年(火)	37人
トレーニングルーム説明会	年8回	41人
小学生スポーツ チャレンジ教室	サッカー：5～10月 バレー　：5～10月 卓球　　：10～12月 バスケ　：1～3月	サッカー 申込：63人　延べ：613人 バレー 申込：18人　延べ：344人 卓　球 申込：20人　延べ：178人 バスケ 申込：　9人　延べ：　68人
スキー&スノーボード教室	2月15日(日)	55人

わんぱく水泳教室

さわやかスポーツ教室

③体力づくり事業（実施場所：町民体育館2階トレーニング室）

事　業　名	実施日	備　　考
トレーニング教室	第1期：5月～10月 第2期：10月～3月	申込：30人　(延べ：361人) 申込：36人　(述べ：337人)

④体育協会主催事業

事　業　名	実施日	備　　考
柳津町・出雲崎町　親善スポーツ大会	9月23日(火)	会場：柳津町 35人
第13回出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日(火)	16チーム　106人

⑤スポーツ推進委員関係

事　業　名	実施日	備　　考
中越地区社会体育研究協議会	4 月 23 日(水)	長岡市
二市三刈羽ブロック研修会	8 月 24 日(日)	刈羽村
新潟県スポーツ推進委員研修会	9 月 20 日(土)～21 日(日)	村上市
中越地区社会体育総合研修会	10 月 19 日(日)	燕　市

⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

・スポーツ指導者派遣事業
出雲崎ッズの活動にコオーディネーショントレーニングの講師を派遣。
「コオーディネーショントレーニング教室」　10 月～12 月（全 12 回）

コオーディネーショントレーニング教室

２．体育施設利用状況

	平成 25 年度	平成 26 年度
町民体育館	35,533 人	40,088 人
(トレーニング室)	(6,757 人)	(7,549 人)
(ミーティング室)	(4,806 人)	(4,355 人)
町民野球場	4,946 人	5,062 人
テニスコート	569 人	551 人
プール	3,941 人	3,393 人
柔道場	1,388 人	748 人
屋内 GB 場	6,326 人	7,035 人

➤概　要

町民一人ひとりが、生涯にわたり健康でスポーツを気軽に楽しみ、充実した生活が送れるように、社会体育事業を実施してきた。特に、町民体育館 2 階をリニューアルしたトレーニングルームを使っての健康教室などに重点をおいて、体を動かす楽しさを実感できる事業を展開してきた。

また、少年スポーツチャレンジ教室には卓球教室を加えて多様な選択肢の提供を図っている。例年開催している、夏休み中のわんぱく水泳教室に加えて、月曜日の放課後には長岡地域定住自立圏事業のスポーツ指導者派遣事業を取り入れた「出雲崎ッズ」の中で、コオーディネーショントレーニングを実施して好評を得ている。

➤成果と課題

各種の町内スポーツ大会を毎年開催しているが、町民の趣味の多様化に伴い、参加者が減少傾向にある。個人的な筋力トレーニングのような事業は、要望もあり、これからも継続的に開催していかなければならないと思う。

最も重要な点は、団体スポーツ事業の活性化に向けた取組であると考えており、底辺の拡大につながるよう、各年代層にあった多様な種目の提供や、指導環境の整備を図っていきたい。

そのためには、町体育協会の体制充実と行政との連携の中で、スポーツが健康に与える有用性など、保健福祉分野と密接に連携をとりながら、生涯を通じた健康スポーツ事業を盛り上げていく必要がある。

次年度も引き続き、長岡地域定住自律圏スポーツ振興事業のスポーツ指導者派遣事業を利用し、指導者の養成等を図っていきたい。

姉妹都市である福島県柳津町とのスポーツ交流については、両町とも大変友好的な中で、道筋もついてきた。関係者並びに関係団体の協力に感謝するとともに、今後の交流の活発化のために、小中学校の児童生徒同士の、交流も視野に入れていきたい。

今後スポーツ熱をさらに高めていくには、全町民参加型イベントの実施が考えられる。例えば従前実施していた「町民レクレーション大会」などを、新しいスタイル、形態の中で実施する等の検討もしていく必要があるのではないかと考える。

関係者の意見など十分に吸い上げ、意見を集約しながら、今後の大きな課題としていきたい。

小学生チャレンジ教室（卓球）

町民ウォーキング

Ⅳ　学校･社会教育施設の整備充実

➢整備の状況	**1　学校教育施設の主な整備状況** （１）出雲崎小学校 ○児童玄関庇防水改修工事 ○職員用パソコン入替え （２）出雲崎中学校 ○校舎外壁補修工事 ○体育館照明等落下防止工事 ○職員用・教育用パソコン入替え **2　社会教育施設の主な整備状況** ○中央公民館電話設備改修工事 ○中央公民館トイレ改修工事 **3　社会体育施設の主な整備状況** ○屋内ゲートボール場屋根改修工事 ○町民野球場キューピクル屋根改修工事 ○町民体育館防球ネット張替工事 ○町民野球場内野整備改修工事

➢概　要

当町では、学校教育施設や社会教育・社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修工事や機器の購入などの整備はおおむね完了した。また、本年度は安全上緊急を要する改修工事や機器の購入などの整備を行なった。

➢成果と課題

学校施設では、出雲崎小学校生徒玄関庇防水改修工事が電源立地交付金を当てて完了することができた。また、中学校については、体育館照明等落下防止工事を平成 25 年度繰越明許費による交付金を得て実施した。これにより、照明器具は LED 化され、バスケットゴール・防球ネット等の更新がなされた。中学校校舎外壁補修工事は、電源立地地域対策事業の補助により実施した。更に、各小中学校が共に設置していた教員用・教育用パソコンについては、基本ソフトのメーカー保証が終了したために入れ替えを行なった。

社会教育施設では、中央公民館の電話設備の入れ替えとともに、トイレ改修工事を行い障がい者にも対応できる設備に改善が図られた。また、社会体育施設では、屋内ゲートボール場屋根修繕工事・町民野球場キューピクル屋根改修工事などを行った。

今後とも、厳しい財政状況の中ではあるが、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応する検討をしていかなければならない。

Ⅴ　学識経験者からの総合評価

元長岡市立北中学校長　山崎十五郎

日々進化していく時代にあって、多岐にわたる教育課題をきちんと見据え、着実な教育実践に取り組もうとする貴教育委員会の姿勢は、本年度の『教育計画』の冒頭の部分に簡潔に示されている。何よりも、子どもたちの足元を見つめ、人としての基礎・基本の習得を目指し、学習習慣、生活習慣の改善を重視している。また、情報化社会のただなかで情報を主体的に取捨選択できるように、子どもたちの自尊心を培うことは大切なことと思われる。問題の要因を探り、適切な指導から意欲付けにつなげる過程を大切にしたい。

今年度は特に、教育委員会と出雲崎町教育研究会（小・中学校）の協働による「出雲崎町教育計画」が実践に移された年であり、これにとって、従来から取り組んできた小・中連携教育の全体像が明確に示され、学校教育の場において継続性と一貫性が中核をなしていることを高く評価したい。また、一貫教育の基礎として自尊感情の醸成をうたい、「達成経験」「成長モデル」「目標設定」、そして、「フィールドバック」の４つの段階に配慮されている点は、確かな成果を生むに違いない。

町教育研究会の取組の一つとして報告されている「メディアコントロールができる児童生徒の育成」は画期的なものといえる。今や、インターネットやＮＳＮでの犯罪被害やネット上でのいじめ問題が子どもたちにとって大きな問題になっている。このようなときに、青少年育成出雲崎町民会議と小中合同学校保健委員会が合同開催という形で、児童生徒の健康課題とメディアに触れる実態について協議がなされている。なお、学校医、小中ＰＴＡ、保育園、行政関係者、町民会議運営委員等の幅広い層の参加を得て、町ぐるみの取組へと発展していることに、住民の教育に対する関心の高さをうかがうことができる。

社会教育分野においても、幼児教育から生涯学習に至るまで町民のニーズに応じた新鮮な講座が数多く開設されている。毎年度、評価を受けて常にバージョンアップしていこうとする態勢がみられる。とりわけ、ソフト・ハード両面において、学校教育と社会教育が連動して多彩な取組がなされていることに貴町の教育文化度の高さと独自性を感じるものである。

昨年中に法改正され、今年４月１日より施行される新「地方教育の組織及び運営に関する法律」を待つまでもなく、貴教育委員会においては、その趣旨をふまえて新たな取組がなされていることに敬意を表したい。個別指導が可能な学校規模と町の豊かな教育風土による、丁寧な指導が着実な成果を上げていくことを確信している。

Ⅵ その他

○指導いただいた学識経験者名　　（敬称略）

職　　名	氏　　名	備　　考
元長岡市立北中学校長	山崎　十五郎	柏崎市在住（旧西山町）

○町教育委員会関係者名簿

―教育委員―　　（平成 27 年 3 月 31 日現在）

職　名	氏　名	備　　考
教育委員長	木川　勇三	
委員	村越　隆夫	委員長職務代理者
委員	内山　才子	
委員	棚橋　正吾	
教育長	佐藤　　亨	

―職員名簿―

職　名	氏　名	備　　考
教育課長	山田　　栄	
管理指導主事	相川　良和	
教育課課長補佐	権頭　　昇	
教育課課長補佐	佐藤 佐由里	
教育課係長	渡辺　一敏	
教育課主任	若山　和義	
教育課主任	中川　祐哉	
主事	佐藤　真吾	
事務職員	竹村 しのぶ	
事務職員	小川 真紀子	
用 務 員	小林　秋子	
清 掃 員	柴田　圭一	
良寛記念館 館長	本間　　勲	
同　館長代理	永寶　　卓	学芸員
同　学 芸 員	吉田　　隆	
同　事務職員	小黒　晴美	
同　事務職員	大久保 淳子	